

市長 議長 新春対談



対談の市長(右) 議長

星野市長 市民の皆さん明けましておめでとうございます。昭和四十五年の新春を、皆さんとともによろこび申し上げます。市政をお預かりしてから丁度半年になりますが、昨年引き続き、明るい、住みよいまちづくりに最大の努力を払う積りで

市で宅地の造成

人口の流出を防ぐ

小林 去年の八月新市長が誕生日光市政に新風をなげかけた、ということでも市民も非常に期待していると思います。また、山本議長には、同じく昨年の六月議長に就任されて、これからの議会運営、市政に対する監視役という責任を持たれているわけ

五年にどのようにするか、まずその中の一つの「人口流出の阻止」ということからお聞きします。

市長 ここ数年日光の人口は減少している。それを阻止するには安く分譲できる住宅団地の建設も一つの方法であると思いますが、その場所については現在計画中です。もちろん造成に要した費用はいただくことになり

いずれにしても安い土地を分譲して、今市とか鹿沼へ流れ出ないよう日光に永住してもらいたいと思っていますがいかがですか議長さん。

うずもれた観光資源の再開発

市民は日光をよく知ろう

小林 日光には特に重要な問題である今後の観光のあり方、いわゆる観光行政についてどういうにすすめて行くかについて。議長 昭和四年に東武日光線が開通して東京から日帰り日光見物ができるようになった。ただし、日光のすべてをみて日帰りができるのならよいのですが、

表看板である陽明門、中禅寺湖華厳の滝だけが日光のすべてのようなつもりで、もう結構である、という考えで帰ってしまう。また、市民もこれが当然のように考えていた。日光は東照宮造営以前の各種

議長 人口流出の一因は、日光に宅地がなく隣接地の今市方面に安い土地があるから行くので、それに負けない住みよ環境に住宅地ができるなら、よそへ行かず日光に永住する人が増えることだと思います。

分譲地の計画をたてたら、地価の値上りをできるだけ防ぐために、急いで買収にとりかかり造成をする。でないと交渉しているうちに土地会社が乗り込んできて地価を上げてしまう。ですからそのようなことのないよう、計画即実行というようにもっていったらと思うのですがね。

観光地に住んでいる市民は、観光客に看板以外の名勝、史跡を教え、この次にはこういう所を見物するように、と教えるようでなければだめだと思うのです。

それには市内に文化財同好会という会もありますので、そういった機関を利用して、市民が日光市の観光全般について知識をもたなければならぬと思うのですが。

市長 ただ今議長のお話しは、短かい言葉でいえば「祖先の残

した文化財の再開発」ということになると思います。私も選挙運動中市民の皆さんにも声を大にして呼びかけたように、今年度はたとえば含濁ヶ淵とか滝尾とか忘れられている観光資源の開発に力を入れて行きたいと思っています。

議長 是非そのような観光ルートを作って、定期観光バスを活用するのでもっと早い方法だと思ふのですが。

小林 市長がとくに強調しています市政は市民のものである。今後市民との対話を行なって行きたい。とのお話しでしたが、具体的にどのような方法で対話の市政をとられるのですか。

市長 市政は市民のためという観点から、市側から各地域へ出向いてひざを交えて話し合いをする。それを議会なり市政に反映したいと思っています。昨年二、三の地域で話し合ったのですが非常に効果があったと確信しています。また、正式の話し合いの場所ばかりでなく、

小林 市長はスポーツ市長としての名が高い。したがってスポーツを通じて青少年の育成に力

また、奥地開発の山王林道、表男体の志津林道、富士見峠を経由してできれば栗山へぬける林道、霧降から大笹林道への開発、奥鬼怒のスーパー林道でも通るようになれば、これらの林道はいずれも重要な観光資源となるわけです。とくに今のドライバーは、奥へ奥へという心理的なきらいが強いから、将来は林道から山岳観光道路にしたらいと思ふ。

議長 そのようなことが市民にわかれば、市民の方から対話したいと申し出があるのではないのでしょうか。世論を無視した市政はあり得ないのでから。

話し合いのなかから 市政を育てる

ふだんバスに乗った時、町を歩いているときでも常に市民の声を尊重して行く方針です。議会も議員もこのような姿勢であれば、市民が納得できる市政ができるのではないのでしょうか。今年は大いに対話の場を作り、市民の声を聞いて市政に反映したいと思っています。

議長 そのようなことが市民にわかれば、市民の方から対話したいと申し出があるのではないのでしょうか。世論を無視した市政はあり得ないのでから。

スポーツを通じて

根性のある青少年を育成

を入れていくと思われま